

# 自然観察指導員 講習会



第623回



山口

2025年 9月20日(土)~21日(日)

国立山口徳地青少年自然の家  
(山口県山口市)

定員 **40名**

対象

- 満18才以上の方
- 2日間の全プログラムを受講できる方
- 自然保護教育の必要性を認識し、
- 自然観察活動の推進に意欲があり、
- できるところから実践する意欲のある方、
- または現在活動されている方

費用 **25,000円** (NACS-J会員は20,000円)

受講料、初年度登録料(5,000円：保険制度加入料含む)、NACS-J個人会員会費(5,000円、22歳未満の方は3,000円)、テキスト代(2,000円)、宿泊(夕食朝食)、昼食2食を含む

通い参加を希望の方は、  
宿泊費 **4,080円** (1泊夕食朝食) が減額になります。

申込時に通い参加か宿泊参加か選択ください。

申込み多数の場合、締切後に抽選となります。  
詳しくは「専用ウェブページ」をご覧ください。  
裏面にQRコード・URLがあります。

## 自然観察指導員とは

NACS-J「自然観察指導員」は、「自然観察からはじまる自然保護」を合言葉に、地域に根ざした自然観察会を開き、自然を守るための仲間をつくるボランティアリーダーです。これまでに全国3万人以上の方が登録しています。

2日間の講習会で、以下の力を磨きます。



自然のしくみ、生き物どうしや人とのつながりなど、  
自然を正しく伝えるための「自然の見かた」



日々の暮らしのなかで  
自然のしくみ、自然保護を意識できるちから



観察会の参加者から興味・疑問を引き出し共有・啓発する  
インタープリター、ファシリテーターとしての素養



観察会で必要な  
リスクマネジメントなどの基礎知識



自然観察会の具体的なノウハウ

共催：公益財団法人 日本自然保護協会、山口県自然観察指導員協議会

## プログラム概要

1日目	9:30～18:30	野外実習 1	<b>自然観察の視点</b> 森を通して自然のしくみを見にいこう
		講義 1	<b>自然の保護</b> 生物多様性の保全と私たちの暮らし
		講義 2	<b>自然の観察</b> 自然観察会と指導員の役割
2日目	8:30～16:00	野外実習 2	<b>自然観察の素材</b> こんなテーマで自然を観察しよう
		野外実習 3	<b>自然観察会の企画</b> 自然観察会の下見から展開を考えよう
		野外実習 4	<b>自然観察会の開催</b> 実際に自然観察会をやってみよう



## 講師紹介



時田 恵

自然観察指導員山梨県連絡会（ノラやまなし）事務局／南アルプス自然クラブ代表



青木 雄司

神奈川県立生命の星・地球博物館 外来研究員／青山学院大学 非常勤講師／モニタリングサイト1000里地調査検討委員



大野 正人

(公財)日本自然保護協会 自然のちから推進部 特任部長

## 申込方法

申込期間

2025年 7月9日(水) ～ 2025年 8月25日(月)

専用ウェブページからお申し込みください



<https://www.nacsj.or.jp/educate/2025/05/47859/>

## お問い合わせ

(公財)日本自然保護協会 自然観察指導員講習会担当  
〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F

03-3553-4101 / kansatsu1978@nacsj.or.jp

### ✔ NACS-J自然観察指導員の登録とNACS-Jへの入会

全日程を修了し、登録申請された方は、NACS-J自然観察指導員として登録されます。登録の条件として「NACS-J普通会員」であることとしています。会員でない方は、講習会の受講時に入会することができます。入会に関しては受講確定後詳しくお知らせします。

### ✔ 事前承認事項（個人情報・安全管理等について）

お申込書等で収集した個人情報は、本事業及び関連事務にのみ使用し、それ以外の目的に使用することはありません。講習会の日程・内容・諸費用・参加の可否・事務処理等について、事前の予告なく変更・中止される場合があります。これにより生じた損害・賠償等について、主催者は一切その責を負いません。また、発生した怪我や事故の対応については、主催者は該当する保険の範囲内のみといたします。事故を防止するために主催者の安全管理に加え、参加者おひとりおひとりのご協力をお願いいたします。故意にプログラムの進行を著しく妨げる行為があった場合は、その後のプログラムへの参加をご遠慮いただく場合があります。以上を参加申込時における事前承認事項といたします。



日本自然  
保護協会

The Nature Conservation  
Society of Japan